

2019 大会年度東京マラソン財団定時評議員会議事録

開催日時	平成 30 年 9 月 12 日午前 10 時 00 分
場 所	新宿NSビル3階 3-B会議室
評議員総数	8名
出席評議員数	6名（猪熊純子、遠藤雅彦、潮田勉、友永義治、野田健、前島伸行）
出席理事	伊藤静夫代表理事
出席監事	中村倫治、曾根真人

1. 議事の経過の要領及び結果

定刻に至り事務局は開会を宣言し、本評議員会は定足数を満たしているため、適法に成立している旨を報告し、議事に入った。なお、評議員会議長及び副議長が選任されるまで、早野事業担当局長が議事を進行した。

○ 決議事項

(1) 第1号議案 評議員会議長及び副議長、議事録署名人の選出について

早野事業担当局長は、定款第13条第2項に基づき、評議員会議長及び副議長は評議員会の決議によって評議員の中から選任することを説明し、立候補又は推薦を求めたところ、猪熊評議員が議長に、友永評議員が副議長に推薦された。

本件については、出席評議員全員の承認を得たので、可決成立した。なお、これ以降、猪熊評議員が議事を進行した。

また、本評議員会議事録署名人の選出について諮ったところ、潮田勉、野田健の両評議員を全員一致で選出した。

(2) 第2号議案 平成30年6月期事業報告書及び決算書について

黒田管理本部長は、定款第10条第2項の規定に基づき、平成30年6月期における事業状況を事業報告書及び附属書類により説明報告し、その承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

○ 報告事項

(1) 平成30年6月期資金運用及び基本財産の管理状況について

黒田管理本部長は、平成30年6月期資金運用及び基本財産の管理状況について説明した。

(2) 2019大会年度事業計画書及び予算書について

黒田管理本部長は、2019大会年度事業計画書及び予算書について説明した。

○ その他

(1) 東京マラソン参加料水準の検討結果について

黒田管理本部長は、理事会において提起のあった参加料の適正水準について、日本陸上競技連盟及び東京都、東京マラソン財団の三者で検討を行い、議論の結果導き出された内容について説明した。ボストンマラソン爆弾テロ以降、警備・安全対策費が増加しており、今後も引き続き増加が見込まれること、2019大会年度予算で初めて赤字決算を計上したこと、さらに協賛金収益が不安定な財源であることに触れた上で、警備安全対策費はランナーの安全・安心に直接必要な経費のため、ランナー自身に負担していただくことが相応しいものであると、改定額を5,000円とするとともに、改定期間については東京マラソンの安定的な運営及び継続発展の

ために必要な財政基盤の強化について一刻も早く取り組むためにも、2020大会から改定したい考えを示した。

また、このことについては今後東京マラソン財団のホームページ等で一般ランナーから意見を聴取する予定で、12月の臨時理事会で経過を報告し、決定したい考えであると述べた。

(2) 都民先行エントリー枠の創設について

黒田管理本部長は、東京マラソンは市民マラソンの域を超え、世界有数の一大スポーツイベントに成長してきたが、定款にはランニングスポーツの普及振興を通じて都民の健康増進と豊かな都民生活の形成に寄与するという目的も掲げられており、都民優先枠についてはこれまで財団内でも検討を重ねてきたが、東京2020大会を契機として都民のスポーツ機運を一層高め、大会後の貴重なレガシーとして継承していく必要があることを説明した。

また、他の自治体が開催する市民マラソン大会でも押し並べて地元優先枠が設けられていることや、東京マラソンは多大な経済効果を生む一方で、交通規制等により沿道の皆様を初め、都民の皆様に御迷惑をおかけし、物流など様々な経済活動に影響を与えている側面も踏まえ、都民のスポーツ振興、東京2020大会のレガシーの継承並びに地元の盛り上げと御協力に報いることを目的として都民選考エントリー枠を創設すると述べた。これについては、今後も引き続き日本陸上競技連盟及び東京都等と調整を行いながら進めていく考えを示した。

これについて、前島評議員より警備・安全対策費及び対策の方針を策定するにあたっての考え方について質問があり、早野事業担当局長は、オフィシャルパートナーであるセコム株式会社にご指導をいただきながら、パートナー企業や、陸連、都と協議しながら進めている一方で、他大会の状況も鑑みつつ進めていきたいと回答した。

次に、遠藤評議員より東京マラソンの参加料水準について、第1回大会の参加料を決定する際にも議論があり、その当時の経過からみても5,000円増は妥当な水準ではないかとの意見があった。

次に、潮田評議員より、今回の値上げにあたっては、都民・国民の意見をよく聞くとともに、収支状況を踏まえ、内部努力しながら進めてもらいたいとの意見があった。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午前10時40分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人及び出席理事は次に記名押印する。

平成30年9月12日

一般財団法人東京マラソン財団

評議員（議事録署名人）

潮田

勉



評議員（議事録署名人）

野田

健



代表理事

伊藤 静夫



本議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

一般財団法人東京マラソン財団 管理本部 大山 知絵